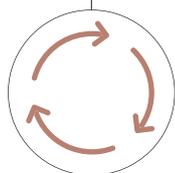


2本の柱が支え、地域を「経営」する

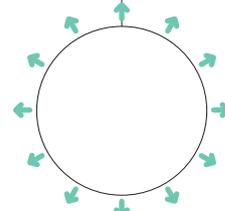
internal

external

地域 経営



地域経済循環などの
内部の力



地域ブランド化などの
外部への力

公開型フォーラム

「地域経営研究会～持続する地域を目指して」

2018.11.16 (金)

沼田町生涯学習総合センター (通称：ゆめっくる)

2階 ゆめっくるホール

主催：公益財団法人はまなす財団 / 一般財団法人北海道東北地域経済総合研究所 協力：沼田町

MODEL CASE

北海道沼田町

農村型コンパクトエコタウン構想

明るい高齢化社会を目指して

官民連携で歩いて暮らせるまちづくりの実現を

平成25年に開催された「沼田町医療・福祉体制の今後を考える町民懇談会」において、診療所の建設や医師の確保などの問題が話し合われた。しかし、今後の沼田町を考えると、医療・福祉だけでなく、住宅や買い物、移動手段など、小規模自治体の様々な課題に対応したまちづくりを総合的に検討する必要があることから、より住みやすいまちづくりを目指し、「沼田町農村型コンパクトエコタウン構想」の策定を進めることとなった。

その結果、「医療」「福祉」「介護」の3つの要素を1カ所に集約した「暮らしの安心センター」や、町・商工会・農協が出資したまちづくり会社が運営する新たな商業施設「まちなかほっとタウン」を開設し、約3,000人の人口に適したコンパクトな町づくりが進められている。



公開型フォーラム

「地域経営研究会～持続する地域を目指して」

開催概要

道内各地域や北海道、ひいては日本全体での人口減少は避けられない課題であることから、規模拡大や従来通りの開発ではなく、人口減少を前提とした新たなステージへ移行した地域づくりが求められています。平成 29 年度の研究会では、「しなやかに再生する地域づくり」をテーマに、北海道では東川町、下川町、東北では仙北市、五城目町の取り組みからその共通点等を整理しました。本年度は、地域経済循環など地域の「内部の力」と、地域ブランド化など「外部への力」の両軸を同時に考えながら地域を「経営」という地域経営に視点をあてた地域づくりをテーマに設定しました。

そこで、「歩いて暮らせるまちづくり」を戦略に据え、農村型コンパクトエコタウンを推進する沼田町の取り組みは、今後求められる地域づくりモデルと考えられることから、研究会の参加者とともに近隣自治体や先進地域、また道内の各地域で活躍するメンバーがその考え方を共有することを目的に本フォーラムを開催します。

日時 —— 公開型フォーラム：2018年11月16日（金） 14：00～17：30
地域経営ワークショップ：2018年11月17日（土） 9：30～15：30 ※参加希望者のみ

開催場所 — 沼田町生涯学習総合センター（通称：ゆめっくる） 2階 ゆめっくるホール
〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目6番5号

参加費 —— 無料

プログラム

14：00～14：10 開会挨拶ならびに研究会趣旨説明

（公財）はまなす財団 専務理事 佐藤 厚

講演 1

14：10～14：40 「沼田町のまちづくり戦略～
農村型コンパクトエコタウン構想の推進」

沼田町長 金平 嘉則 氏



講演 2

14：40～16：10 「持続可能な社会の構築に向けた
地域経済の考え方」

有限会社イーズ
代表 枝廣 淳子 氏



16：10～16：20 休憩

16：20～17：20 パネルディスカッション

パネラー：沼田町長 金平 嘉則 氏、有限会社イーズ 代表 枝廣 淳子 氏
モデレータ：（公財）はまなす財団 特別研究員 千葉 俊輔

17：20～17：30 開会挨拶

（一財）北海道東北地域経済総合研究所 理事長

17：30 閉会

お問い合わせ

公益財団法人はまなす財団 事業産業部

TEL: 011-205-5011